

事務事業評価シート 令和 2 年度事後評価・決算

令和 4 年 2 月 10 日時点

事務事業評価シート					令和 2 年度事後評価・決算		所管課	農水産課			担当班	振興班	
事務事業名		コード	22500	新規就農総合支援事業	予算科目	会計	款	項	目	事業種別	☒	主な事業（重点施策）重1	
						一般	6	1	3		☐	国土強靱化地域計画	
施策体系	基本施策	1		農水産業の振興	根拠法令	新規就農・経営継承総合支援事業実施要綱等							
	施策の展開	2		安定した農業経営の推進	戦略事業	10	新規就農総合支援事業						
	施策の展開				戦略事業					☒	新市建設計画		
											☐	定住自立圏構想	
											☒	主要事業	

(1)事務事業の概要

① 事務事業の期間		② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない				
☒ 単年度繰返		1.羽ばたくルーキー農業者激励会：新たに農業を開始した青年（50歳未満）に対して、JA、農業事務所と共催して激励会を行い、補助制度等の説明を行う。 2.農業次世代人材投資資金：独立、自営就農して間もない農業者（原則として50歳未満）の就農後の定着を図ることを目的として資金の交付を行う。 【交付金額】年間 1農業者当たり最大150万円（夫婦の場合は最大225万円） ※平成27年度申請者から前年度所得に応じて変動あり 【交付期間】独立就農日から最大5年目まで交付。 3.旭市農林水産業後継者育成事業補助金：青年農業者（40歳未満）の育成を目的とした公的機関が主催する研修等の補助金の交付を行う。 【補助金額】講演会開催 最大10万円、研修参加 最大25万円（かかった費用の2分の1） 4.新規転入農業者支援事業補助金：市内で就農する意志を持って転入した青年等に対して、補助金の交付を行う。 【補助金額】農業用機械・施設等の取得 最大50万円（かかった費用の2分の1以内）、農地の賃借 最大20万円（農地10aあたり20,000円／年以内）				
☒ 平成 24 年度～						
☐ 開始年度不詳						
☐ 期間限定複数年度						
平成 年度～						
令和 年度まで						
③事務事業開始の経緯・事務事業の現状		④事務事業に関する課題・環境の変化		⑤事務事業に対する住民からの意見等		
【激励会】新規就農者に対し関係機関が一体となって支援するため始まった。【農業次世代人材投資資金】農業後継者不足が深刻な問題となっている中、青年の就農意欲の喚起、就農後の定着及び就農者の増加を目的として国の制度として開始。【後継者育成事業】商工観光課と農水産課で実施していた補助事業を整理・統合。【新規転入農業者支援事業】新たな農業の担い手を確保し、地域農業の振興を図るため、市単独事業として開始。		・平成25年度より青年就農給付金（現農業次世代人材投資資金）の交付要件に認定新規就農者であることが加わり、その計画の審査等を市で行うようになった。		・受給者から資金が経営の安定に役立てられているとの声がある。		

(2)コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細（2年度の決算）			単位：千円	
1.報償金	155	激励会記念品代		
2.食料費	6	激励会茶菓子代		
3.新規就農総合支援事業補助金	4,435	農業次世代人材投資事業補助金		
4.農林水産業後継者育成事業補助金				
5.その他	900	親元就農チャレンジ支援金・新規農業者支援事業補助金		
② 特定財源の内訳（2年度の決算）			単位：千円	
1.国庫支出金				
2.都道府県支出金	4,435	農業次世代人材投資事業補助金		
3.地方債				
4.その他	900			

事業費	費目内訳	1. 報償金	千円	29年度 (決算)	87	30年度 (決算)	90	1年度 (決算)	66	2年度 (決算)	155	3年度 (予算)	160
		2. 食料費	千円		5		9		9		6		20
		3. 新規就農総合支援事業補助金	千円		9,750		9,550		6,750		4,435		11,250
		4. 農林水産業後継者育成事業補助金	千円								0		500
		5. その他	千円						146		900		6,700
	事業費計（A）		千円		9,842		9,649		6,971		5,496		18,630
	財源	1. 国庫支出金	千円										
		2. 都道府県支出金	千円		9,750		9,550		6,750		4,435		11,250
		3. 地方債	千円										
		4. その他	千円								900		6,700
5. 一般財源		千円			92		99		221		161		680

前年度増減理由	人材投資事業補助金の受給期間（5年）を満了した受給者がいたため
---------	---------------------------------

従事職員数	常時	1人	最大	4人	×	1日	=	延べ	4人
-------	----	----	----	----	---	----	---	----	----

(3)事務事業の手段・目的と対応する指標

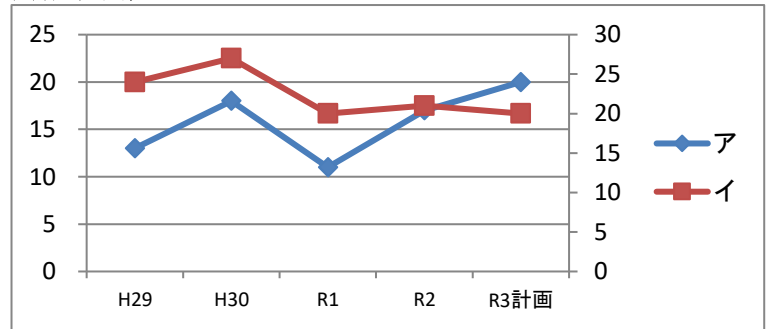
① 主な活動		➡	③ 活動指標名		29年度	30年度	1年度	2年度	3年度	
			単位	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(計画)		
手段	2年度実績(2年度に行った主な活動)									
	新規就農者の激励会		ア	羽ばたくルーキー農業者激励会参加者数	人	4	5	5	7	20
	農業次世代人材投資資金の交付 旭市農林水産業後継者育成事業及び新規就農者支援事業、 親元就農チャレンジ支援事業の募集		イ	青年就農給付金の給付件数 (うち当該年度新規件数)	件	6(2)	6(2)	6(0)	3(1)	7(4)

② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)		➡	④ 成果指標名		29年度	30年度	1年度	2年度	3年度	
			単位	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(計画)		
目的	対象									
	新規就農者(50歳未満〔激励会〕)		ア	50歳未満新規就農者数(羽ばたくルーキー農業者激励会対象者数) ※令和元年度から35歳未満→50歳未満に変更	人	13	18	11	17	20
	新規就農者数の増加									
	対象									
意図	45歳未満〔新規就農総合支援事業補助金〕、 40歳未満〔農林水産業後継者育成事業補助金〕		イ	新規就農者数 (45歳未満で雇用就農者数含む)	人	24	27	20	21	20
	新規就農者数の増加									

(4)事務事業優先度評価の結果

①成果優先度評価結果			②コスト削減優先度評価結果			
施策貢献度	大きい	成果向上余地	評価結果	コスト比率		
		かなりある		下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
	大きい		①			
	普通		②	(2)		
	小さい		③			
			④⑤			
	小さい		⑥			
			⑦⑧			
			⑨			

(5)成果指標の動向



(6)事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況		☐ 完了 ☒ 順調 ☐ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難													
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)															
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	成果指標のタイプ	↕	数値増＝成果向上	☒ 向上	☐ 横ばい	☐ 低下	成果動向	比較	28年度	29年度	30年度	1年度	2年度
		成果指標イ		↕	数値増＝成果向上	☐ 向上	☒ 横ばい	☐ 低下	ア		29年度	30年度	1年度	2年度	3計画	
	【コメント】 (低下の場合、その理由)															
③ 今年度取組事項 (3年度に取り組む主な事項について記載)		時期	内容				今後の方向性	☒ 拡大 ☐ 縮小	☐ 現状維持 ☐ 廃止・休止	☐ 見直し ☐ その他()						
		令和3年度	親元就農チャレンジ支援金の周知による制度利用者の増加。 就農を支援する新規事業の創設。				令和3年度以降	新規就農者向けの新規事業を創設する。								